

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		スペースを分けて遊びの空間を確保している。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			人員配置は有資格者を揃えて専門的な支援の提供を行っている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			危険個所の見直し、子供の動線の確保をおこなっている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			対応の統一、支援の結果の共有、利用児童の変化、職員間で話し合っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			大変満足頂いている内容に嬉しく感じながら、楽しい企画を今後も計画していく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	今後、実施していきたいと考えている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			地域の研修に参加。他事業所との交流・意見交換会実施。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			5領域の発達段階を細かく理解し、必要な課題をスタッフ皆で分析している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			5領域のアセスメント用紙を作成し、丁寧に分析している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			活動・行事計画係りを立ち上げ、内容を毎月検討している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			遊びの内容、目的、目指す課題を話し合い決めている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			下校後の宿題、長期休暇課題、個別学習などを用意そて取り組む。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			年に2回計画を基に面談し、状況や今後の課題を共有している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			通常業務として毎日欠かさず行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			同上

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			支援計画の共有を行い、職員間でケース会議を設け確認している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半期にモニタリング、計画の見直しを行っている。(前期、後期)
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			子どもの最善の利益、後方支援、保護者支援の姿勢を意識して従事している。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者が出席。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			基本的には保護者から伝達を受けるが、緊急時は学校と直接の連絡を行う。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	対象児なし
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			児童発達支援施設に見学に伺い入所前の様子を見させて頂いている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			保護者の了解を得て、支援内容・対応・留意事項などをまとめたサポートファイルを移行先に提出。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			児童発達支援センターに見学情報共有をさせて頂いた。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	今後、検討したい。職場体験やボランティア活動を受け入れていきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			運営に入り、勉強させて頂いている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			当日の様子も細かくお伝えし、面談でも丁寧にお子さんの課題や成長について共有する。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	ご家庭で実践可能な事に関してアドバイス等させて頂いている。
保護者への説明責	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に細かく説明させて頂いている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			随時、ご希望に応じて対応する。

32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	実施なし
----	---	--	--	---	------

非常時等の対応	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			時間を空けずに状況整理をし、詳しい説明を行う。寄せられた苦情に対し、丁寧に謝罪し改善を図るための方針を示す。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			直前のお知らせにならないよう、起案とお知らせ発行を早めに取り組む。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			規定通りの保管を徹底する。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			伝わりやすいツールの使用を含め様々な手段を検討し応じる。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	実施なし
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			契約時に丁寧に説明している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			避難訓練の実施は定期的に行い、9月には防災学習を実施している。
40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			子どもの権利条約を基本とした虐待防止研修を行っている。	
41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			命を守る目的以外の拘束は基本的には一切認めない。契約時に説明をし、保護者様にも同意を頂いている。	
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	対象児童なし	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット記入時に「気を付けポイント」として共有している。	